

新システムに係る要件等

1. 新システムの環境

- (1) 現行システムはオンプレミス型(クライアントサーバーモデル、一部Webモデル)であるが、クラウド型システム(LGWAN-ASP 型又はクラウド SaaS 型)への移行を検討している。
- (2) 現行のシステムを継続して利用するのではなく、必要な機能を整理することで入札・契約に関する制度改正やシステム利用環境の変化を伴う改修に対し、柔軟に対応可能とすること、かつ、より受注者及び発注者が利用しやすいシステムへの移行を目指す。
- (3) 電子決裁化を検討。(既存の財務会計システムや文書管理システムを活用する方法も含む)

2. 新システムの範囲

(1) システムの機能

- 入札参加資格申請管理機能
入札参加資格申請、参加資格認定、有資格者管理
事業者が入札参加資格の申請を行い、発注者が審査・承認を行う
種別は「工事」「測量及び建設コンサルタント」「物品等供給契約」の3種
資格申請は2年毎の定時登録の他、毎月の随時登録を想定
各種要件設定により業種別格付け処理を行う機能を想定
参加資格や IC カード期限等に係る各種メールなどの発送機能を有す
業者基本情報については別に運用する財務会計システムとの情報連携等を想定
- 電子入札機能
コアシステムを利用して工事、業務及び物品、役務等の電子入札を実施
一般競争入札や指名競争入札の他、総合評価落札方式、再入札、随意契約、ランダム係数、くじ抽選などに対応する機能を想定
指名通知や落札通知等各種メールなどの発送機能を有す
入札参加申し込みや関係資料の提出、参加資格審査結果の確認機能を想定
- 設計図書・仕様書配布機能
設計図書や仕様書の配布、ダウンロード操作ログの管理
担当職員による仕様書ファイルの個別アップロードの他、別に運用する工事

積算設計システムとのデータ連携を想定

- 入札情報サービス(PPI)
入札情報の公開、入札、開札、契約結果の公表
発注見通し情報の公表、有資格業者名簿の公開
- 契約管理機能
契約台帳管理、担当職員による件名等個別データの入力その他、別に運用する
工事積算設計システム等とのデータ連携を想定
入札参加資格申請管理の情報をもとに、指名案や一般競争入札の入札参加
申込者の入札参加資格の確認の機能を想定
指名通知や入札参加資格通知の発送等を行う
予定価格調書(最低制限価格)の作成機能を有し、公告文書、契約書等入札・
契約に係る各種帳票の作成を想定
電子入札の結果情報を連携するとともに、各種統計処理を行う
- 施工管理・検査機能
成績評定、評定結果の通知
しゅん工認定通知の作成と発送等を想定
- その他の機能
別に運用する財務会計システムとの情報連携等を想定
利用者アカウント、IC カード等の各種管理業務の簡素化を目指す

(2) システムの要件

- ネットワーク回線
事業者はインターネット回線、職員は LGWAN 回線(又はインターネット回線
を仮想化して)利用を想定
- 電子認証
事業者はコアシステム対応民間認証局を利用
職員はLGPKI利用を想定

(3) システムの利用対象

- 利用職員
職員は北九州市職員のうち、工事、業務及び物品、役務等の入札及び契約を
担当するもの(利用者見込み数は、約 700名)
- 事業者
北九州市との契約を希望する工事、業務、物品、役務等の提供業者
- 取り扱うデータ数
契約件数は、約26, 250件／年(※R5実績)
【内訳】 工事:約6, 900件、業務:約15, 000件

物品:約750件、役務:約3,600件
登録業者数は、約6,670者
【内訳】 工事:約2,100者(※R7.6.1時点)
物品:約3,900者(※R6.10.1時点)
コンサル:約670者(※R6.10.1時点)

3. その他

(1) ふくおか電子自治体共同運営協議会が提供するシステムに係る提案

北九州市がふくおか電子自治体共同運営協議会の電子入札システムや競争参加資格申請受付システム等を利用した場合を想定した情報を提供できる場合は、その情報を提供してください。

なお、その場合に提供いただく概算見積りは、上記システムの利用範囲を明示して、試算してください。(協議会加入のための負担金は記載不要)

(2) 複数の情報提案について

想定するネットワーク環境や利用するシステムの種類を異にする複数の情報を提供できる場合は、要件を明記のうえ、各情報をご提供ください。